



このたびはコイズミ学習机をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- 事故防止等、安全のため、「使用上の注意」を必ずお守りいただいでご使用ください。
- お読みになった後は大切に保存していただき、取扱いのわからないときにお役立てください。

## 目次

1 商品の使用スタイル	2
2 組立方法	3~10
3 組替え方法	11・12
4 使用方法	13
5 照明器具の使用方法	14
6 使用上のご注意	15
7 点検と修理が必要なとき	16
8 ラック (オプション)	16
9 コイズミ学習机保証書	17
10 お客様ご相談窓口	17

## ハイベッドデスク

〈本体〉

●HCM-950N

〈シェルフ(オプション)〉

●HCA-956 BL

●HCA-957 PK

●HCA-958 WH

### この取扱説明書のマークについて SAFETY INFORMATION

**警告** 説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。  
**WARNING** A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.

**注意** 説明書中の「注意」は傷害や物的損害の原因になる危険を示します。  
**CAUTION** A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.



このマークのついている説明文は必ず守ってください。  
 KEEP THE NOTICE WITH THIS MARK.



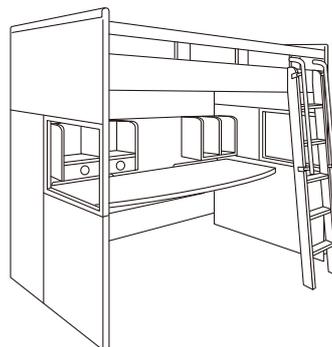
このマークのついている説明文は特に注意してください。  
 BE CAREFUL THE NOTICE WITH THIS MARK.

# 1 商品の使用スタイル

この商品は、お子様の成長に合わせて、4つの使用スタイルが選べます。

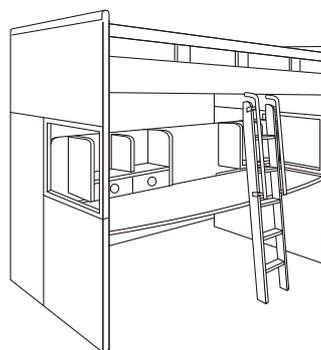
## スタイル①：ハイベッドデスク〈天板を奥に設置〉

（特徴）最も省スペース性に優れたスタイルです。  
主に小学生での使用に適しています。



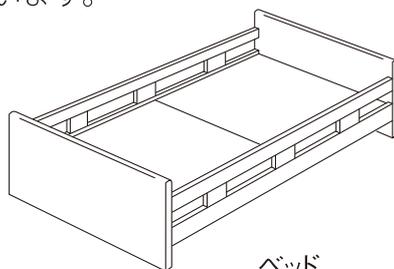
## スタイル②：ハイベッドデスク〈天板を手前に設置〉

（特徴）勉強時に頭上の圧迫感がありません。  
身長がのびる中学生での使用に適しています。

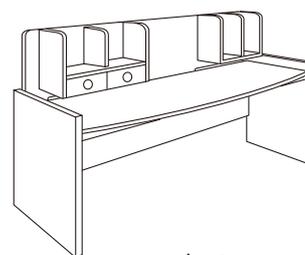


## スタイル③：ベッド+デスク〈ベッドとデスクを分離〉

（特徴）側パネルの後ろ部分が分離できるため、ベッドとデスクを単体で使う場合でも省スペース性に優れています。さらに身長がのびる高校生での使用に適しています。



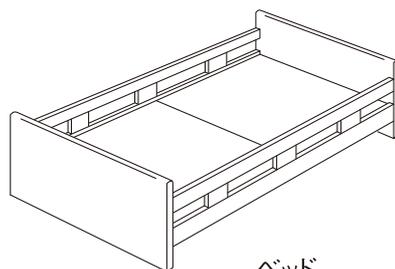
ベッド



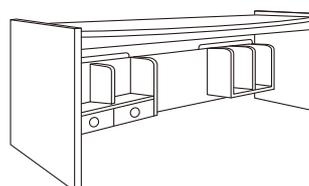
デスク

## スタイル④：ベッド+フラットデスク

（特徴）スタイル③でのデスクのバックパネルを下に取付け、シンプルなフラットデスクとして使用できます。



ベッド



デスク

## 2 組立方法 (※組立では、必ず2人以上でおこなってください。)

### (1) 本体付属部品について

部品がすべてそろっているか、お確かめください。

部 品 名	品 番	数 量	数 量
		部品袋の中に 入っています。	「側パネル下」 に取付済です。
組立てボルト(長:M6×70)	SAT5BJ-670	28本	8本
丸ナット	SAT4MN-617	28個	8個
連結ピン	GKU4MB-21W	4本	4本
回転金具	GKU4MK-N29	8個	8個
組立てボルト(中:M6×40)	SAT4BJ-640	9本	
組立てボルト(短:M6×25)	SAT4BJ-625	2本	
コンセント取付ボルト(中:M6×40)	SAT4BJ-640	2本	
コンセントボックス	YUK4SW-05G	1個	

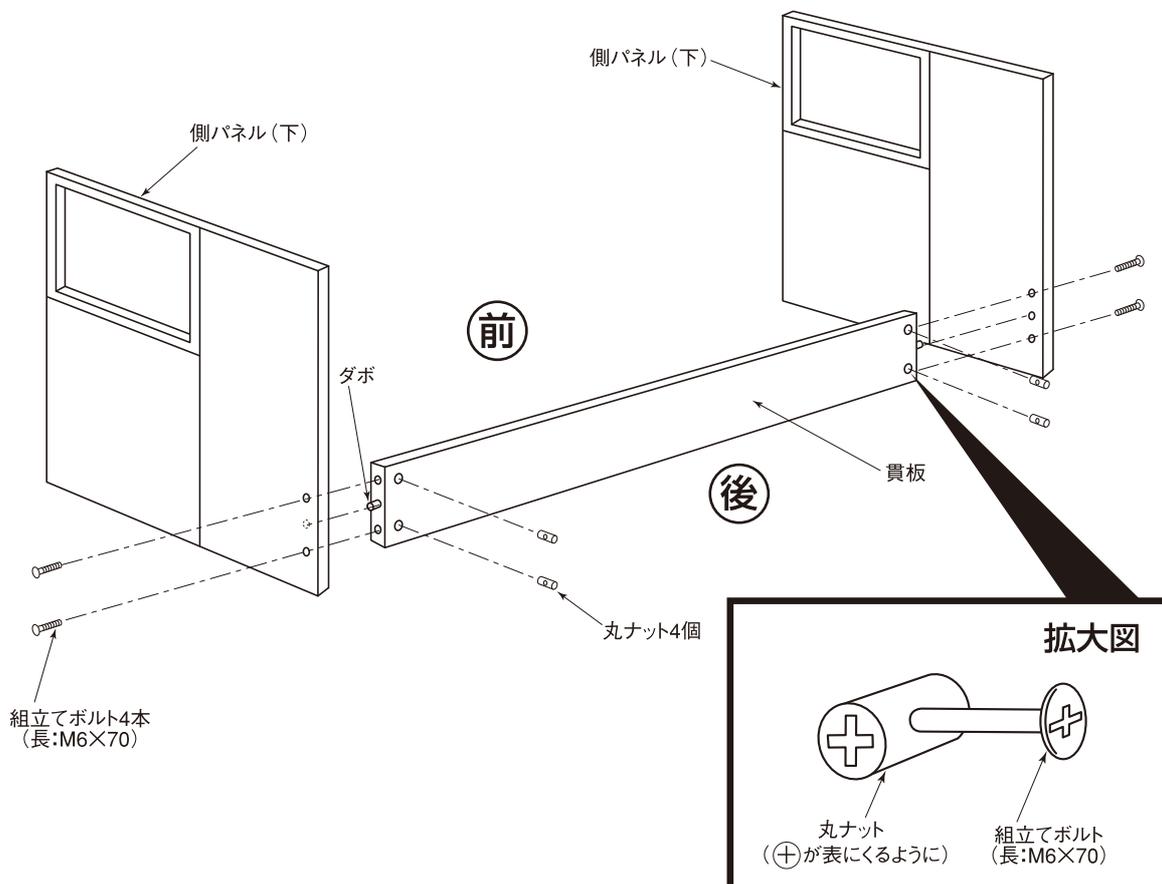
※ハシゴ付属部品は、ハシゴと同梱になっております。

### (2) 側パネル(下)と貫板<sup>ぬき</sup>の組立て



側パネルには左右がありますのでご注意ください。

- 側パネル(下)の左右を確認してから、貫板の丸ナット穴を外側に向けてダボを側パネル(下)に差し込み、組立てボルト4本と丸ナット4個で⊕ドライバーを用いて仮組みしてください。この時、丸ナットの向きにご確認ください。



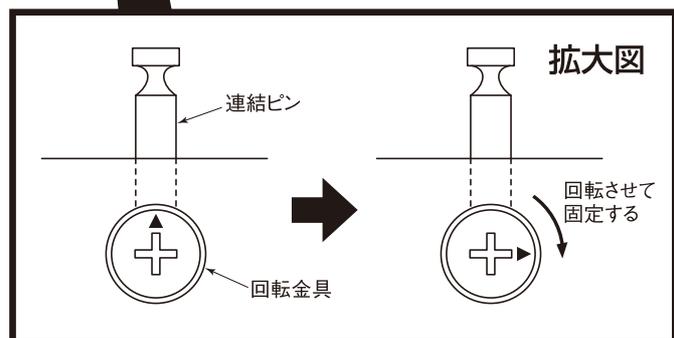
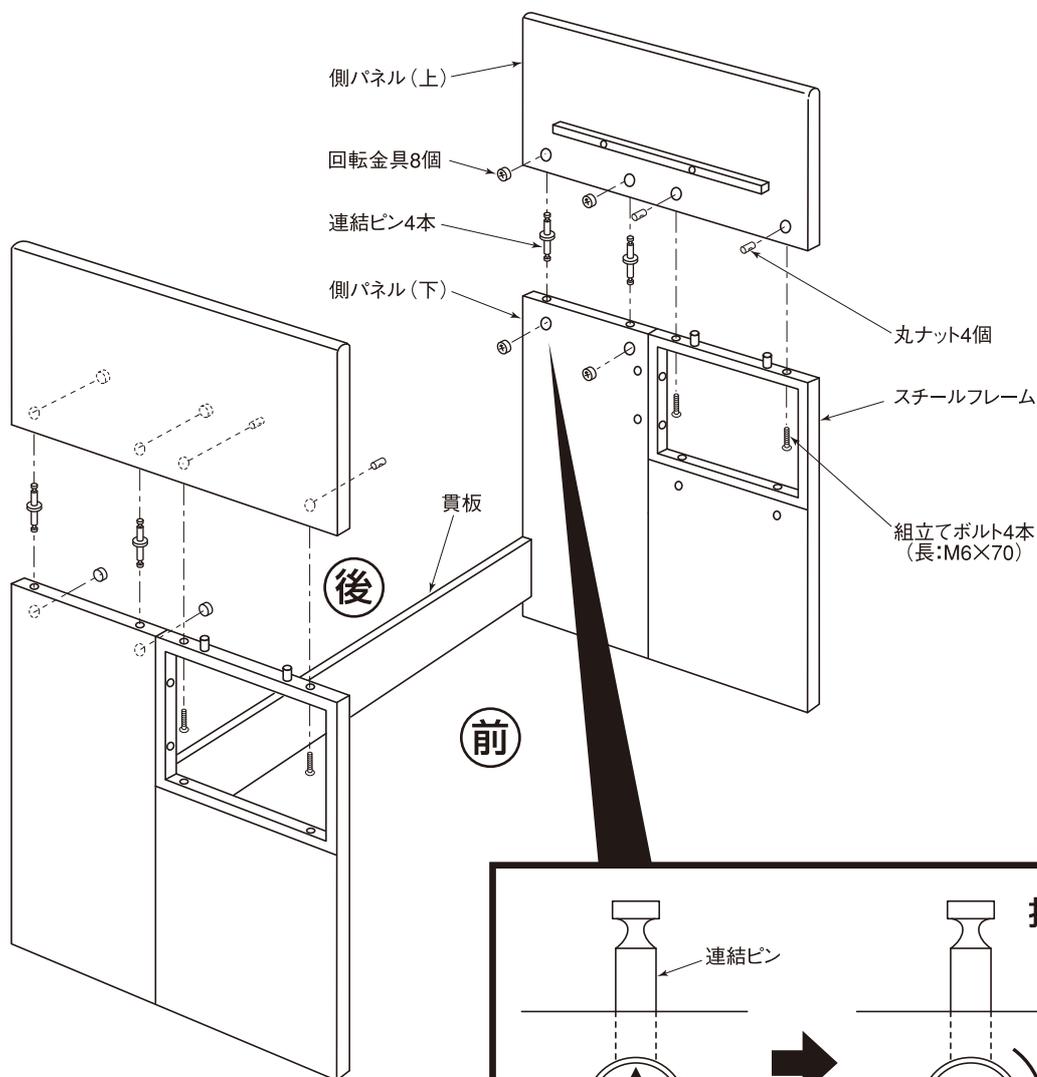
## 2 組立方法

### (3) 側パネル(上)と側パネル(下)の組立て



側パネルには左右がありますのでご注意ください。

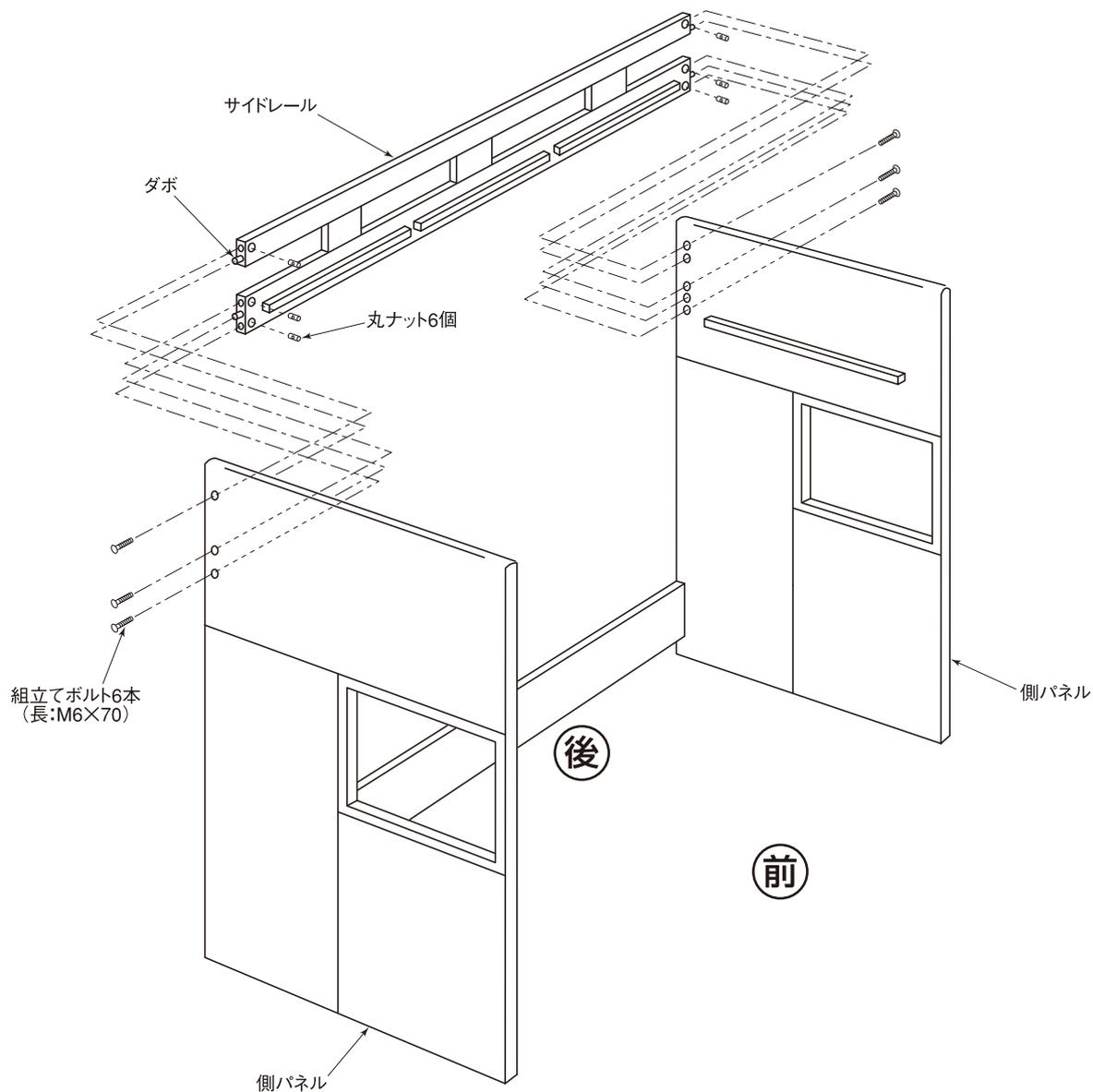
- ①側パネル(上)の左右を確認してから、側パネル(上)・(下)の内側の穴に回転金具8個を差し込んでください。この時、回転金具の向きにご確認ください。(拡大図参照)
- ②側パネル(下)に連結ピン4本を差し込んでください。
- ③側パネル(上)を側パネル(下)の上ののせ、⊕ドライバーを用いて回転金具を右側にしっかりと回してください。(パネル上下とも)
- ④側パネル(上)とスチールフレームは、組立てボルト4本と丸ナット4個で⊕ドライバーを用いて連結してください。この時、丸ナットの向きにご確認ください。



## 2 組立方法

### (4) 側パネルとサイドレール(後)の組立て

- サイドレールの丸ナット穴を内側に向けてダボを側パネルに差し込み、組立てボルト6本と丸ナット6個で⊕ドライバーを用いて仮組みしてください。この時、丸ナットの向きにご注意ください。



必ず2人で組立て中の側パネルや、サイドフレームをささえながら作業をおこなってください。  
→ サイドレールが落下し、ケガや破損の原因になります。



ハイベッドとして使用する時は、サイドレールの上部は、絶対にとりはずさないでください。  
→ 落下、事故、けがの原因になります。

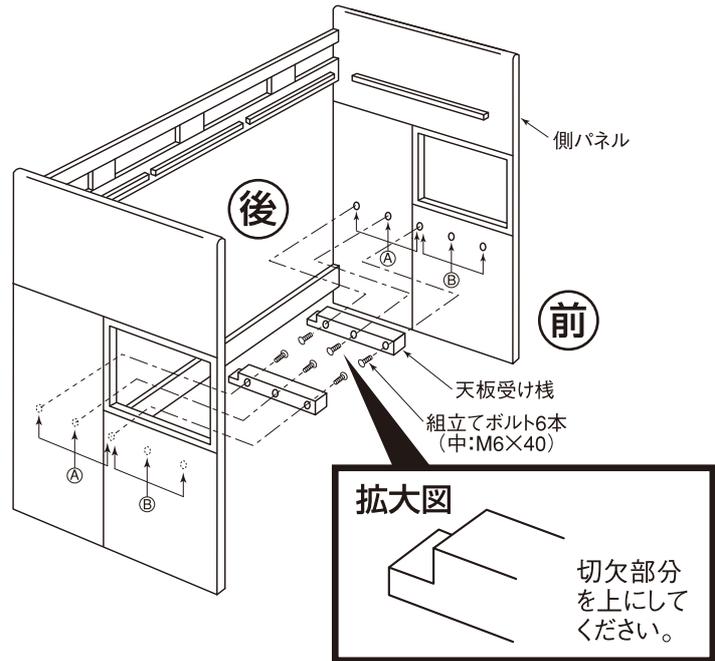
## 2 組立方法

### (5) バックパネルの組立て

- ①天板受け棧を切欠部分が後ろになるようにして組立てボルト6本と⊕ドライバーを用いて、側パネルへ取付してください。この時、切欠部分の向きにご注意ください。(拡大図参照)またボルトはしっかり締め付けてください。

天板受け棧の取付位置について

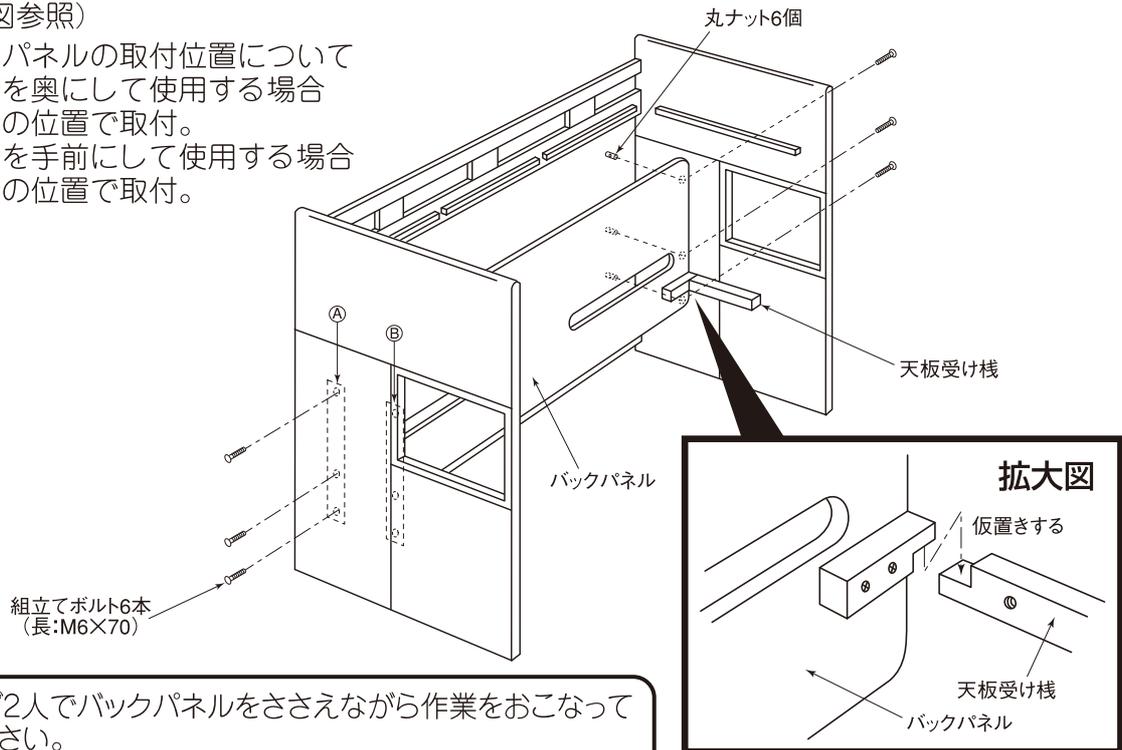
- 天板を奥にして使用する場合  
…①の3ヶ所で取付。
- 天板を手前にして使用する場合  
…②の3ヶ所で取付。



- ②バックパネルを天板受け棧に仮置きし、組立てボルト6本と丸ナット6個で⊕ドライバーを用いて仮組みしてください。この時バックパネルの向き(表裏、上下)にご注意ください。(拡大図参照)

バックパネルの取付位置について

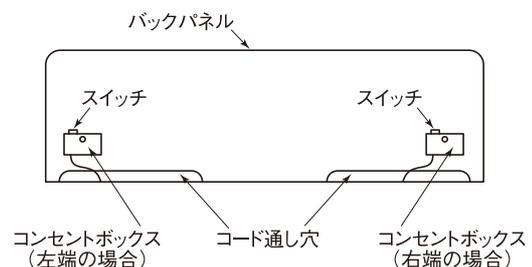
- 天板を奥にして使用する場合  
…①の位置で取付。
- 天板を手前にして使用する場合  
…②の位置で取付。



必ず2人でバックパネルをささえながら作業をおこなってください。  
→バックパネルが落下し、ケガや破損の原因になります。

### (6) コンセントボックスの取付け

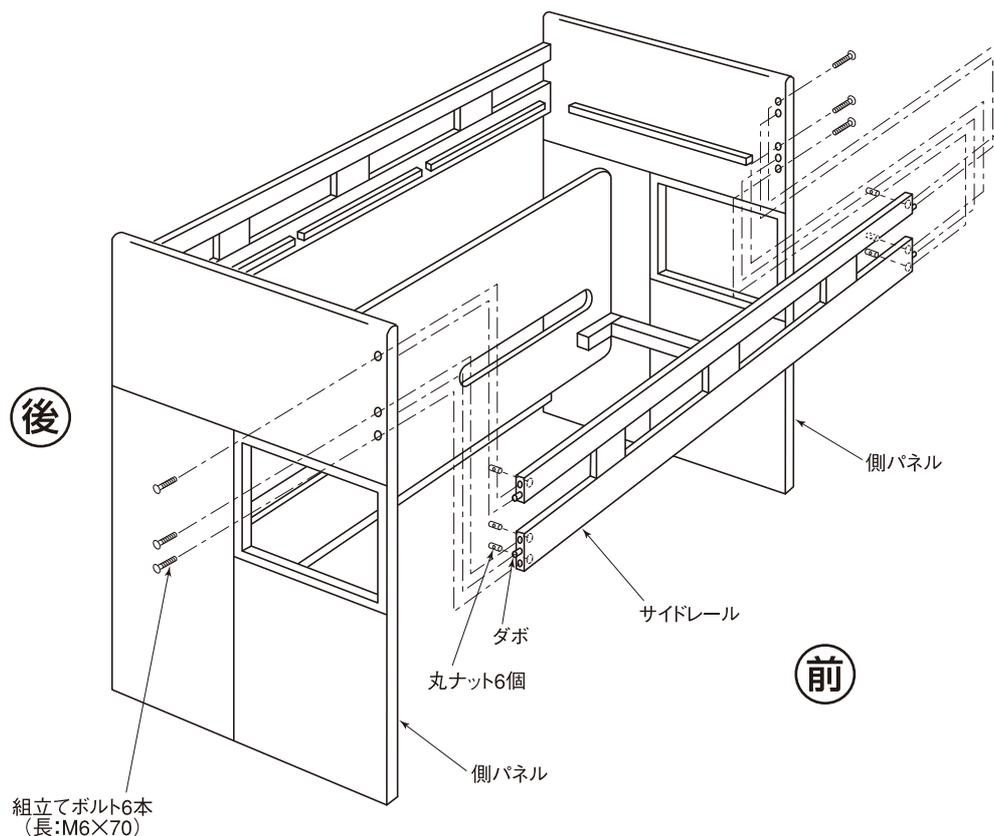
- バックパネルの左端か右端のどちらかに、コンセントボックスを取付ボルト(短:M6x40, 2本)で⊕ドライバーを用いて取付してください。この時、コンセントボックスのスイッチが必ず上側になるように取付けてください。電源コードはコード通し穴より背面へ通してください。



## 2 組立方法

### (7) 側パネルとサイドレール(前)の組立て

- サイドレールの丸ナット穴を内側に向けてダボを側パネルに差し込み、組立てボルト6本と丸ナット6個で⊕ドライバーを用いて仮組みしてください。この時、丸ナットの向きにご注意ください。



必ず2人で組立て中の側パネルや、サイドフレームをささえながら作業をおこなってください。  
→ サイドレールが落下し、ケガや破損の原因になります。

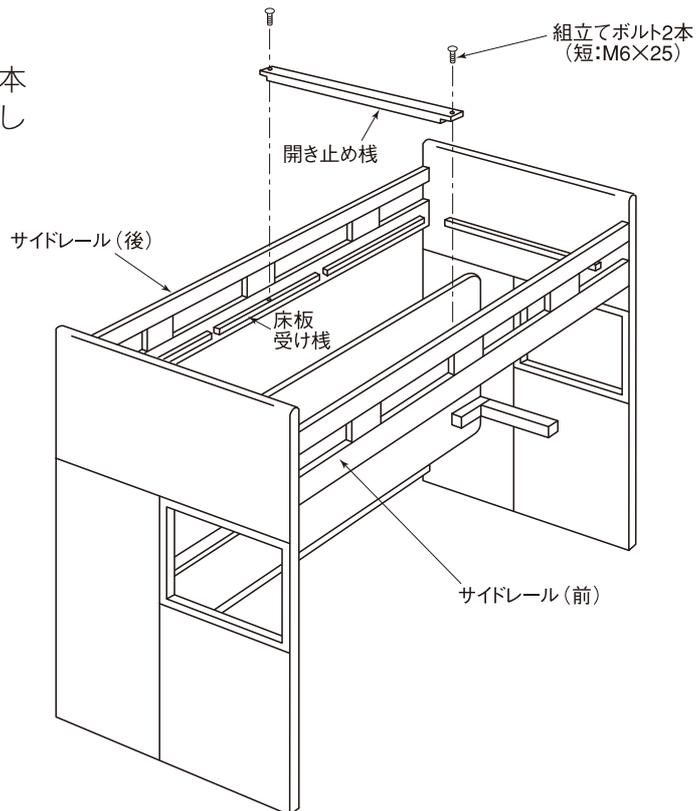


ハイベッドとして使用する時は、サイドレールの上部は、絶対にとりはずさないでください。  
→ 落下、事故、けがの原因になります。

## 2 組立方法

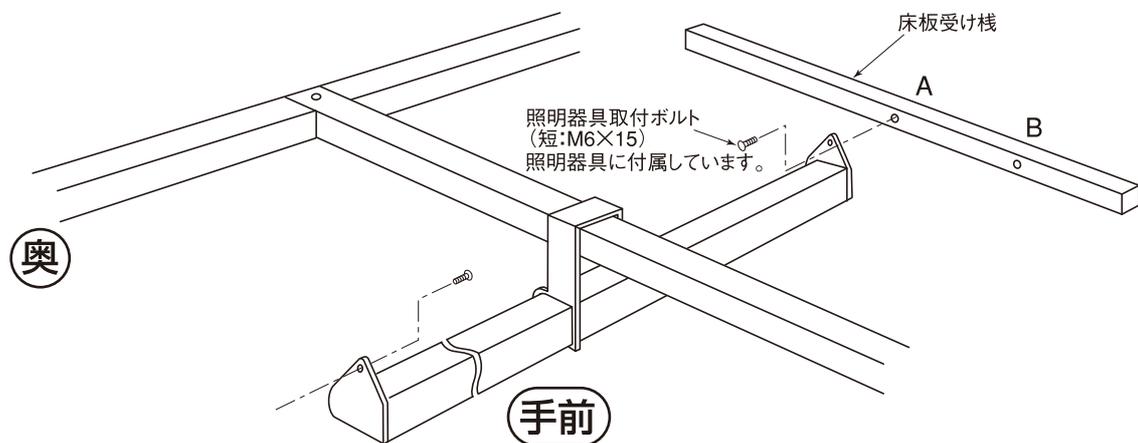
### (8) 開き止め棧の取付け

- 開き止め棧を組立てボルト2本で⊕ドライバーを用いて取付してください。



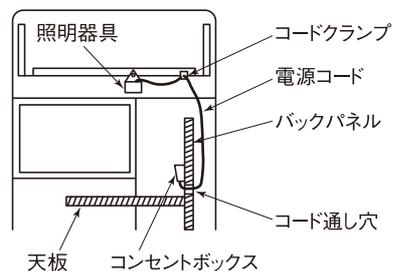
### (9) 照明器具の取付け

- ①照明器具中央部分の引掛け金具を開き止め棧に掛け、左右の取付金具と床板受け棧を付属の照明器具取付ボルト2本で固定してください。  
照明器具は奥(A)の位置と手前(B)の2ヶ所に取付可能です。天板を奥に取付ける場合はAの位置に、手前に取付ける場合はBの位置に取付けてください。



必ず2人で照明器具をささえながら作業をおこなってください。  
→照明器具が落下し、ケガや破損の原因になります。

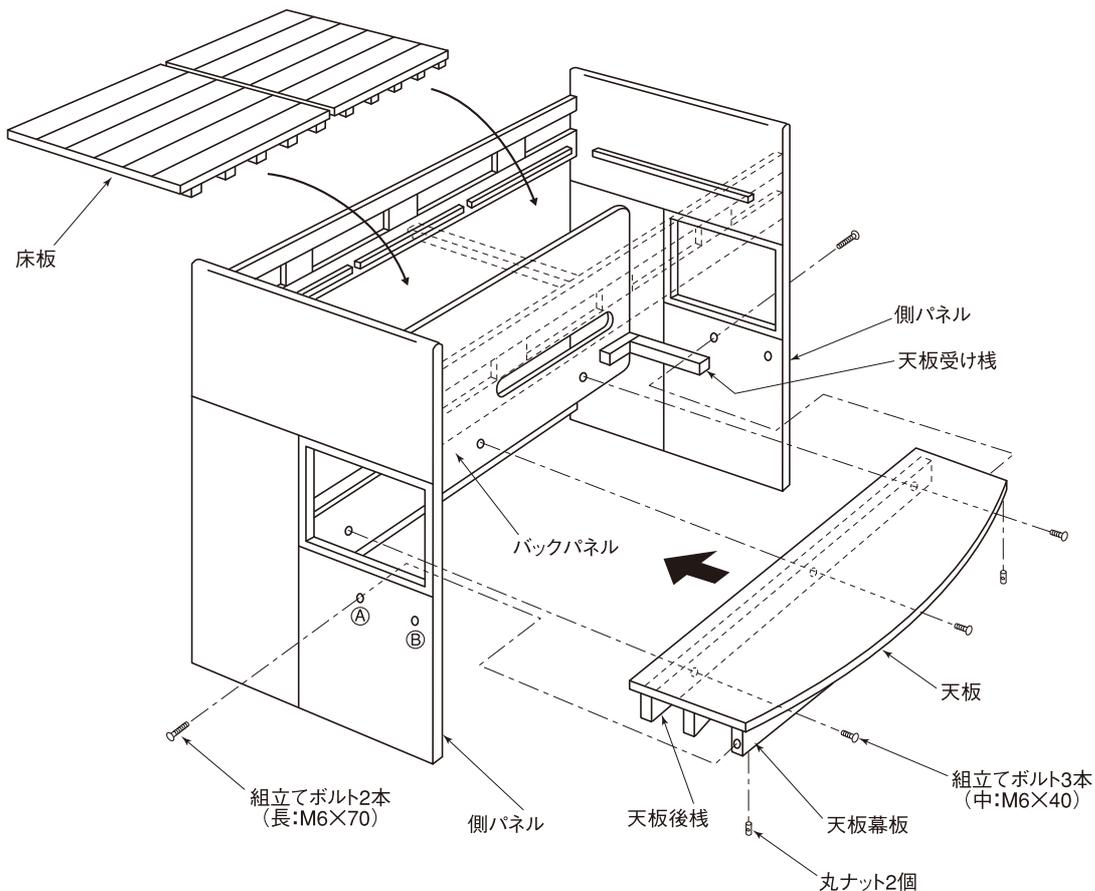
- ②照明器具の電源コードは、付属のコードクランプを利用してバックパネルの背面へ回し、コード通し穴から引上げ、コンセントボックスへ差し込みます。必ず照明器具のプラグは「ライト専用」コンセントに差し込んでください。



## 2 組立方法

### (10) 天板の取付け

- ①天板を側パネルに対して正面より平行に差し込み、左右の天板受け棧にのせてください。そのまま均等にバックパネルにあたる位置までゆっくりと天板を押し込んでください。
- ②天板幕板の下側より丸ナットを差し込み、側パネルの外側から組立てボルトで⊕ドライバーを用いて連結してください。この時、丸ナットの向きにご注意ください。  
天板の取付位置について
  - 天板を奥にして使用する場合……Ⓐの位置で取付。
  - 天板を手前にして使用する場合……Ⓑの位置で取付。
- ③天板後棧とバックパネルを、組立てボルト3本で⊕ドライバーを用いて内側より連結してください。



必ず2人で天板を持って作業をおこなってください。  
→天板が落下し、ケガや破損の原因になります。

### (11) 組立てボルトの本締めをする

- 側パネルの外側からのボルトなど、全ての仮組みボルトをしっかりと締め込んでください。  
→ゆるんだボルトがあると部品がはずれて落下し、ケガや破損の原因となります。

### (12) 床板をのせる

- 床板の方向に注意して床板をのせてください。(上図参照)  
→方向が逆の場合、床板の破損やケガの原因となります。

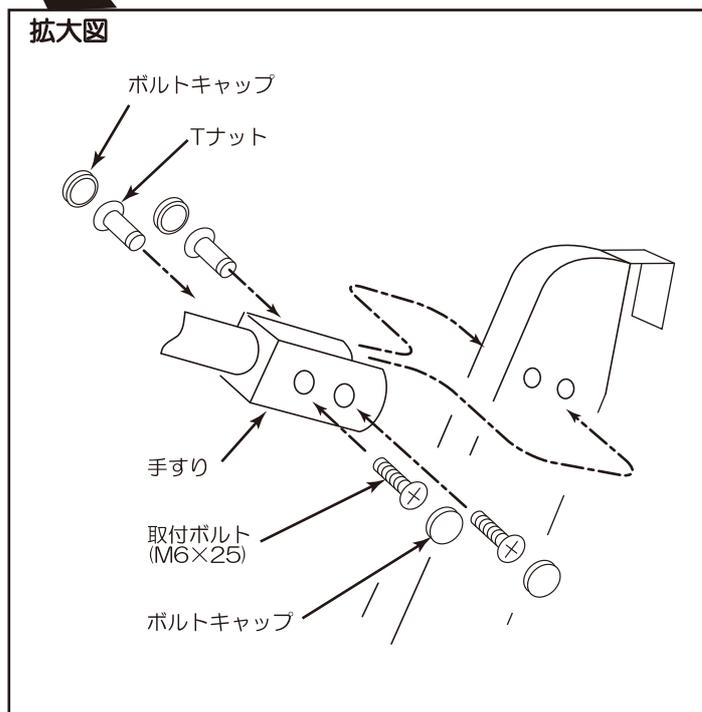
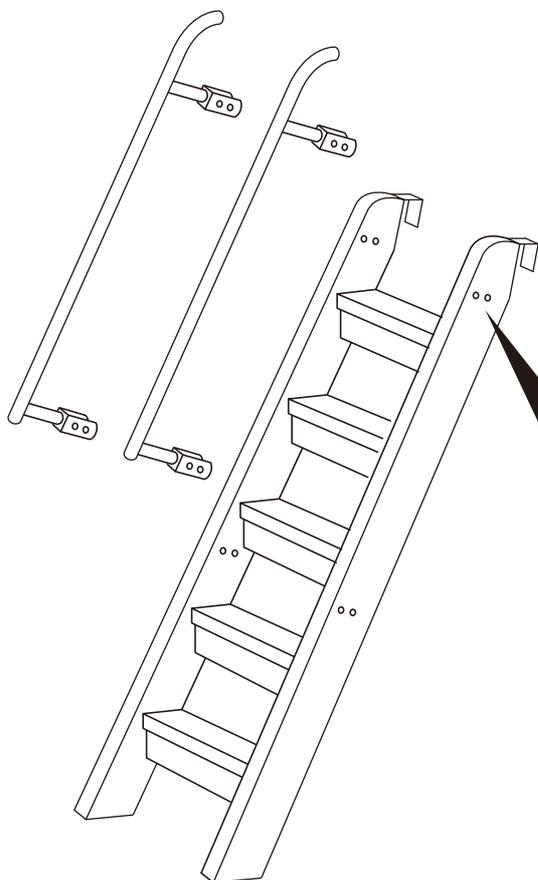
## 2 組立方法

### ● 付属部品

部 品 名	品 番	数 量
取付ボルト (M6×25)	SAT4BJ-625	8本
Tナット	SAT6JN-19A	8個
ボルトキャップ	SAT6BC-60W	16個

### ● 手すりの組立

- ①ハシゴ本体と手すりを取付ボルト (M6×25) 8本とTナット8個でプラスドライバーを用いて取付してください。
- ②ボルトとナットにボルトキャップをつけてください。



### 3 組替え方法（※組替えは、必ず2人以上でおこなってください。）

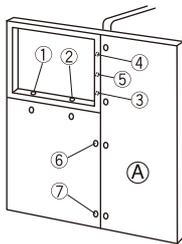
#### (1) スタイル①からスタイル②へ（天板を手前に設置）

- ①天板を取外します。  
2-(9)「天板の取付」を参照ください。左右の側パネル、バックパネルと計5ヶ所で止まっています。M6×40ボルト 3本、M6×70ボルト2本、丸ナット2個は、再度締付けの際使用しますのでなくさないでください。
- ②バックパネルを外します。  
2-(5)「バックパネルの組立て」を参照ください。左右の側板と6ヶ所で止まっています。M6×70ボルト×6、丸ナット×6は再度締付けの際使用しますので、なくさないでください。
- ③照明器具をつけかえる  
2-(8)「照明器具の取付け」を参照して、左右の固定ボルトをはずし、器具を手前にずらして付け直してください。
- ④天板受け枠を手前に付け替えます。  
2-(5)「バックパネルの組立て」を参照ください。付替えの際、この部分のボルトは締め付けてください。
- ⑤バックパネルを取付けます。
- ⑥天板を取付けます。
- ⑦仮組みのボルトをすべて締め付けてください。

#### (2) スタイル②からスタイル③へ（ベッドとデスクを分離）

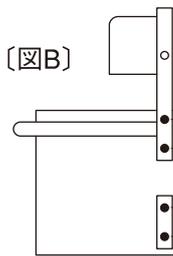
- ①天板を取外します。（ベッドの左右両側にスペースのある場合は、天板をはずす必要はありません）  
2-(9)「天板の取付」を参照ください。左右の側パネルとバックパネルと計5ヶ所で止まっています。M6×40ボルト3本、M6×70ボルト2本、丸ナット2個は、再度締付けの際使用しますのでなくさないでください。
- ②スノコ板を外します。
- ③照明器具をはずします。
- ④開き止め枠をはずします。
- ⑤サイドレール（前）、サイドレール（後）、側パネル（上）の順で取り外します。  
それぞれの組立ての項を参照ください。M6×70ボルト12本、丸ナット12個、M6×25ボルト2本はベッド組立ての際使用します。なくさないでください。
- ⑥貫板を取り外します。左右4ヶ所で止まっています。
- ⑦スチールフレーム、側パネル後ろ部分をはずします。（図A参照）

〔図A〕



①～⑤のボルトをはずし、スチールフレームを外してください。内側から⑥、⑦の回転金具を左に回し、④の側パネルを後ろに外してください。

〔図B〕



バックパネル取付ボルト4本

貫板取付ボルト4本

- ⑧取り外した貫板を再度側パネルに取付けます。（図B参照）
- ⑨①で天板を外していた場合は再度天板を取付けてください。

### 3 組替え方法

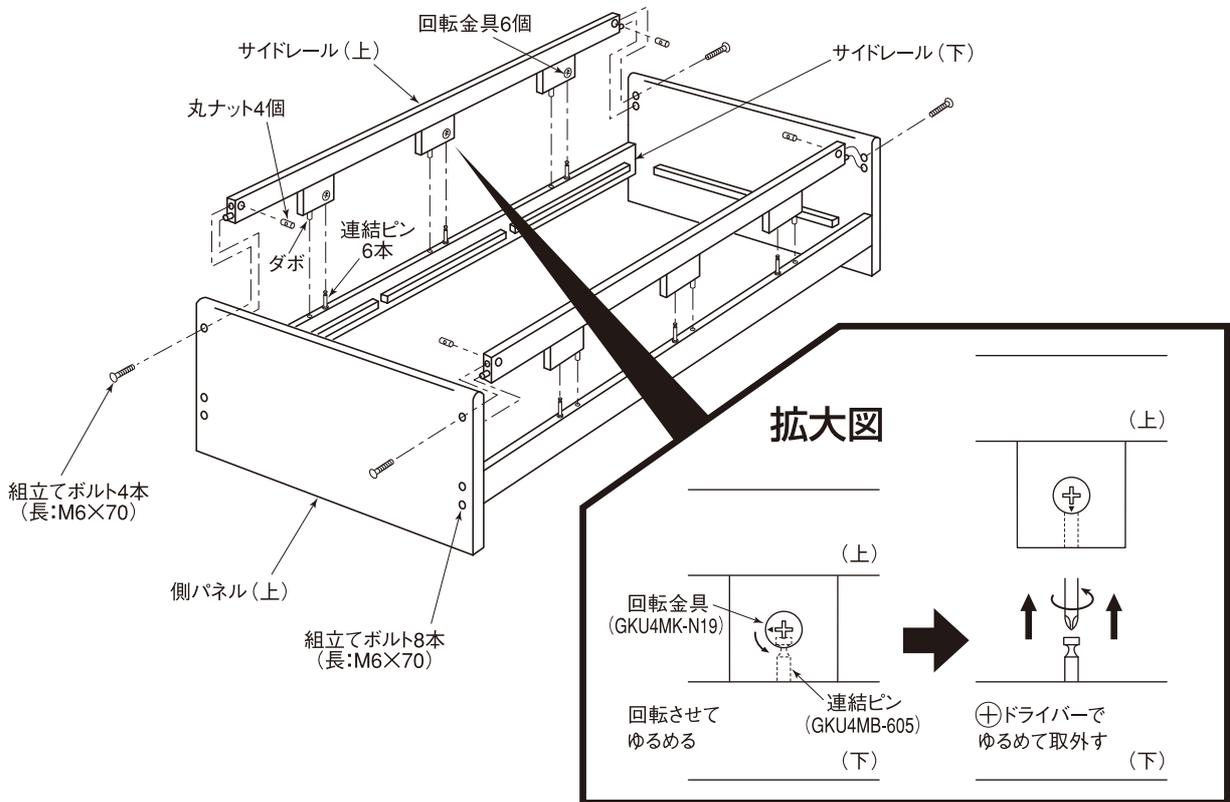
⑩ベッドを再度組立てします。



ベッド単体での使用の際、サイドレール上部は取外しができます。



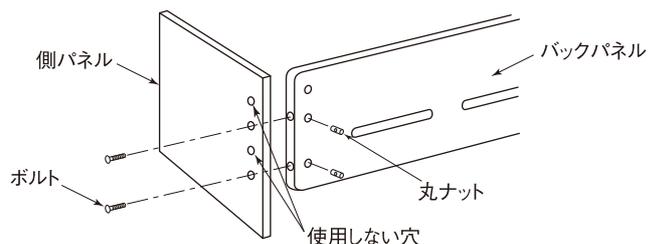
ハイベッドとして使用する時は、サイドレールの上部は、絶対にとりはずさないでください。  
→落下、事故、けがの原因になります。



- 1) 側パネル(上)とサイドレール(上)を連結している組立ボルト4本を取外し、サイドレール(下)の組立ボルト8本をゆるめます。
- 2) サイドレール内側の回転金具を⊕ドライバーを用いて左側へ回し、サイドレール(上)を上へ引抜いて取外してください。この時、サイドレール(上)にはダボが5本付いていますのでご注意ください。また、サイドレール(下)の連結ピン6本も⊕ドライバーを用いて取外してください。
- 3) サイドレール(下)のゆるめた組立ボルト4本を締め付けてください。

### (3) スタイル③からスタイル④へ

- ①天板を取外します。  
2-(9)「天板の取付」を参照ください。左右の側パネルとバックパネルと計5ヶ所で止まっています。M6×40ボルト3本、M6×70ボルト2本、丸ナット2個は、再度締付けの際使用しますのでなくさないでください。
- ②バックパネル、貫板の順に外します。  
それぞれ、左右の側板と4ヶ所ずつで止まっています。M6×70ボルト×4、丸ナット4ヶは、再組立てに使用します。
- ③側パネルとバックパネルを組立てます。  
バックパネルの上下を逆にし、側板をボルトと丸ナットで固定します。この際、中間の穴は使いません。  
反対側も同様に組立ててください。
- ④天板を組立てます。



バックパネルは上下を逆にして取付してください。

## 4 使用方法

### (1) コンセントの使用方法

#### 1. 机のコンセントは2口で合計1400ワット(W)までの家電製品が使用できます。

○ご使用前に使用する家電製品の定格消費電力のワット(W)数の合計が1400ワット(W)以下となることを確かめてからご使用ください。定格消費電力以外のワット(W)数表示のある家電製品がありますのでご注意ください。

→合計が1400ワット(W)を超えた状態でご使用になりますと電流ヒューズが切れてコンセントが使用できなくなります。

●机のコンセントで使用できない場合は室内の壁コンセントで家電製品をご使用ください。

#### 2. 電流ヒューズの交換

①電源コードをコンセントから抜いてからヒューズの交換をしてください。

②ヒューズカバーを⊖ドライバーで左に回してください。

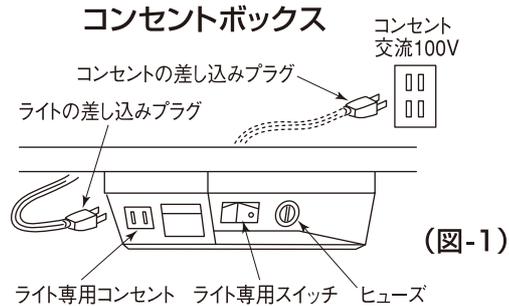
③ヒューズカバーを手前に引き出してヒューズをはずします。

④ガラス管15A(6.4×30mm)の電流ヒューズと交換してください。(図-1)

○ヒューズ交換後、ヒューズカバーはゆっくり回して確実に取付けてください。

→ヒューズカバーの飛び出しが大きいと、発煙・過熱・変形の原因になります。

○コンセントボックス向かって左側面のスイッチ連動コンセントは学習机照明器具専用です。他の電気器具は絶対に使用しないでください。  
→スイッチ加熱により、火災になる恐れがあります。



#### 3. コンセントの取付・取はずし方法

●コンセントはお好みに応じて、左右どちらかを選んで取付けることができます。

○電源コードの差し込みプラグは必ず壁コンセントから抜いた状態で、取付け、付けかえを行なってください。

### (2) ランプの交換方法

○ランプ交換の際は、必ず電源を切って、しばらくしてから行なってください。

→電源を切らないと感電の原因になることがあります。また、点灯中や消灯直後に、ランプおよびランプ周辺をさわると、やけどの原因になります。

○ランプは高周波点灯専用細形蛍光ランプ(FHF54SEN)をご使用ください。

→適合しないランプを使用すると、火災の原因になります。

○ランプが寿命になりますと保護回路が働き、そのランプは突然消灯しますが、故障ではありません。ランプを交換し約5分後に電源を入れ直せば正常に点灯します。

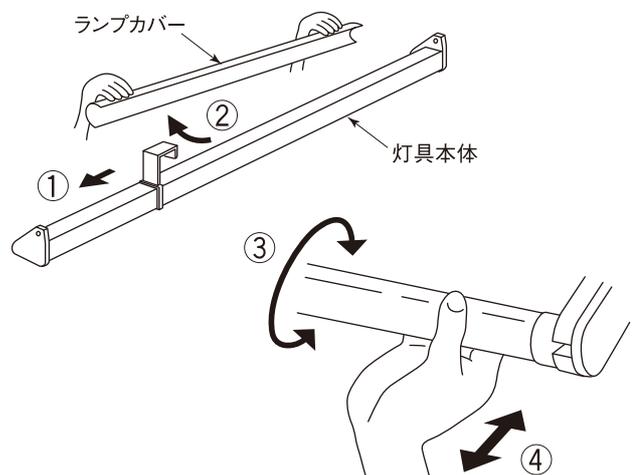
①照明器具センター部の「**┐**」引っかけ金具を開き止め棧からはずして左右いずれか横にずらしてください。

②ランプカバーの両端を両手でつまんで掛かりを解き、灯具本体から引きはずしてください。

③ランプを90°回してソケットより抜いてください。

④装着する場合

ランプの端子を左右のソケットに差し込み、ランプを90°回転させてください。



## 5 照明器具の使用方法

### (1) 使用前に必ず確認してください

#### ⚠ 警 告

- この照明器具は非防水です。湿気が多い場所や水のかかる場所では使用できません。  
→火災・感電・絶縁不良の原因になります。
- 異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響の受ける場所では使用できません。  
→火災・感電・落下・錆びの原因になります。
- サウナ風呂等の高温場所では使用できません。  
→火災・焼損・やけどの原因になります。
- 指定のランプ以外は使用しないでください。  
→焼損・過熱・変色の原因になります。
- 照明器具やランプを布や紙等燃えやすいものをかぶせたり、近づけたりして使用しないでください。  
→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- 照明器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。  
→感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。
- ランプ外管が割れた場合は絶対に点灯しないでください。  
→感電の原因になります。
- 電源の接続は使用方法に従って確実に行ってください。  
→接続が不完全な場合、故障の原因になります。

#### ⚠ 注 意

- この照明器具は屋内専用器具です。屋外では使用できません。  
→火災・感電・故障の原因になります。
- 寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。  
→感電・絶縁不良・ランプ破損・器具内部の結露の原因になります。
- 点灯中及び消灯直後は照明器具やランプが高温になっていますので素手で触らないでください。  
→やけどの原因になります。
- この照明器具は周囲温度5℃～35℃、湿度45%～85%の中で使用してください。  
→高温・高湿の場合は焼損・過熱・故障・変形・変色の原因になります。低温の場合、蛍光灯は暗くなったり点灯しないことがあります。
- 照明器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。  
→間違って器具に過電圧を加えた場合、ランプ短寿命及び火災・過熱の原因になります。
- 照明器具に貼り付けている注意シールの指示に従ってください。  
→守っていただかないと火災・感電・落下・けが・故障の原因になります。
- 照明器具の近くや電波状況の弱い場所ではラジオ・補聴器・電話器・音響製品等に雑音が入る場合があります。  
→器具とラジオ・補聴器・電話器・音響製品等を150cm以上離してご使用ください。
- 照明器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。  
→器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- ランプと被照射物とは10cm以上離してください。  
→被照射物の焼損・変形・変色の原因になります。
- 電源を入れたまま、ランプの取付け、取外しはしないでください。  
→感電・故障の原因になります。

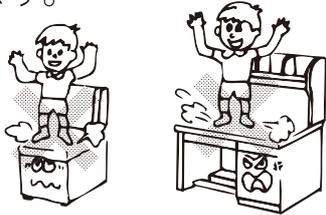
### (2) 照明器具のスイッチ ON・OFF

- 照明器具の下面にあるスイッチをONにした状態でラック下コンセントのスイッチをON・OFFすると、ランプが点灯・消灯します。  
長時間使用しないときは、OFFにし、壁コンセントの差し込みプラグを抜いてください。

# 6 使用上のご注意

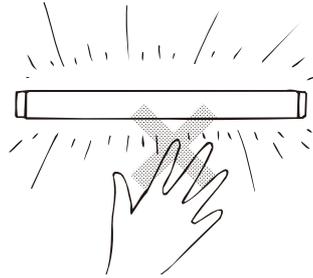
## ⚠ 警告

●けが・破損の原因になります。



机やいすの上に立ったり、とんだり、踏み台代りに使ったり、不安定な姿勢で掛けたりしない

●やけどの原因になります。



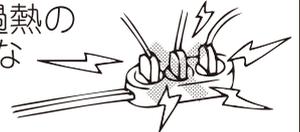
点灯中や消灯直後のランプおよびその周辺をさわらない

●火災の原因になります。



器具やランプに布・紙等をかぶせたり、近づけたりしない

●火災・過熱の原因になります。



タコ足配線はしない

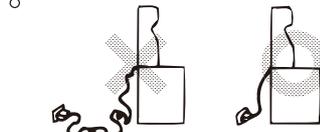
引出しや引手の上に乗ったり、扉等にぶら下がったり、むりな力で引っ張ったりしない



●火災・感電の原因になります。

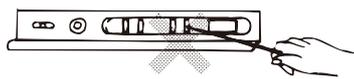
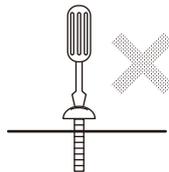


水洗いしたり、ぬれた手でさわったりしない



電源コードを、無理に曲げたり、ねじったりしない

固定用ネジ類がゆるんだまま使用しない



コンセントや器具に棒等の異物を差し込まない



差し込みプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く

## ⚠ 注意

●こげ・変色の原因になります。



家具の上に、加熱したなべ・やかん等を直接置かない

●表面が、はがれることがあります。



天板以外にセロテープ等を貼らない

●変色・変質の原因になります。



シンナー・ベンジン等でふいたり、殺虫剤をかけたりにしない

●天板の上で硬いボールペン等で書くとキズが残ることがあります。マット、下敷をお使いください。  
●木材の接着剤等のおいが残っている場合、換気を十分にしてお取り除くようにしてください。

## ⚠ 警告

●けが等の事故の原因になります。



このベッドの使用年齢は4歳以上です。



敷布団類は、前わく・後ろわくおよび側板との間にすき間が生じないもので、敷布団類の合計した厚みは、100mm以下にしてください。



手すり、前わく、後ろわく等に腰かけたり、乗ったり、はねたり、ぶら下がったり、飛び降りたりしないでください。



ベッドの上段へ上がる時や降りる時は、必ずはしごを使ってください。



手すり、ねじ類はその取付けが確実かどうかをときどき点検してください。



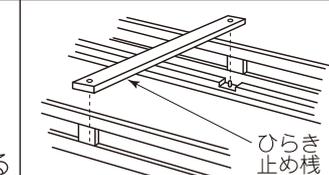
ひも類等の危険なものを取付けないでください。



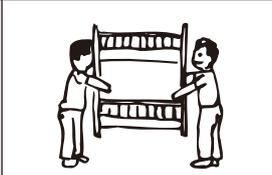
ベッドの上で、とんだり、はねたりしないでください。



ベッドの上段で寝る時は、切欠きのない方向に頭を向けてください。



ひらき止め棧は必ずはめ込んでください。



ベッドを移動する時は、手でしっかり持って運んでください。

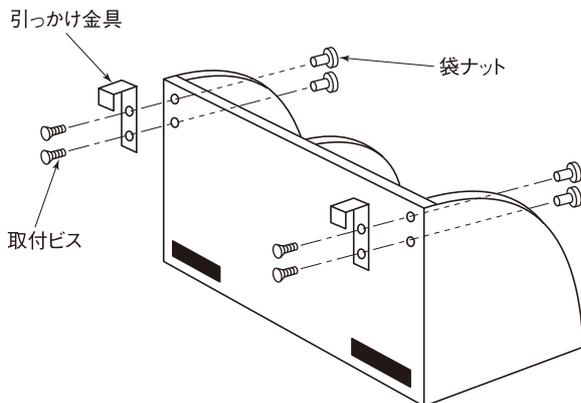
## 7 点検と修理が必要なとき

- 1 より安全にご使用いただくために次のような異常があったときは電器店にご相談ください。
  - コンセントや差し込みプラグが異常に熱いとき
  - 器具接合部のゆるみやコードの損傷があるとき
- 2 部品交換の場合は電源コードの差し込みプラグを抜いてから交換をしてください。
  - 電流ヒューズの交換      ●ランプの交換
 ☉器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。  
 →火災・感電の原因になります。
- 3 取扱説明書どおりに使用されてもまだ不明な点があるときはお買い上げの販売店にご相談ください。



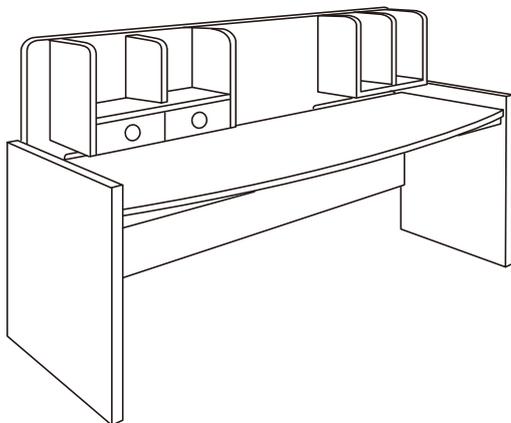
無断転用を禁ず  
 (社)全国家具工業連合会  
 ☎03-5645-8548

## 8 シェルフ(オプション)

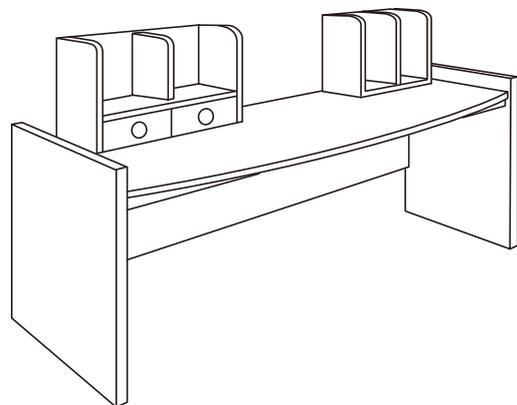


部 品 名	品 番	数 量
引っ掛け金具 	SAT5HK-28G	4個
取付ビス (M6×12) 	SAT5BA-612	8本
袋ナット (M6×12) 	GKU5JN-12N	8個

- シェルフ背板裏側に引っ掛け金具をボルトと袋ナットで取付けてください。



- 背板に引っ掛け御使用になれます。



- 天板の上に置いて使用される時は、引っ掛け金具をはずしてください。

## 9 コイズミ学習机保証書

品番	HCM-950 N	
お客様	お名前	
	ご住所 〒	
	電話番号 ( ) —	
お買い上げ日		販売店名・住所・電話番号
年 月 日		
保証期間(お買い上げ日より)		
2ヶ年		

### \*ご販売店様へ

必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡してください。

この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(お願い) お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保存してください。

### 〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には**無料修理**をさせていただきます。
  - ①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書**をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。
  - ②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記の相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - ②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
  - ③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
  - ④消耗品の消耗、又はそれによる故障
  - ⑤本書のご提示がない場合
  - ⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

**コイズミファニテック株式会社** 〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

## 10 お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◆**お客様相談室** 〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号 ☎06(6658)7382

**コイズミファニテック株式会社** 〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

平成20年現在（所在地、電話番号等については変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）